

1月号 School Aid Japan

スクール・エイド・ジャパン

Dream通信

2015. 1. No.82



日々の積み重ね ～勉強、グループ農作業～



小学生の補習授業

皆さん、こんにちは。日本では、今年の冬の寒さはいかがでしょうか。こちらカンボジアでも、この季節は夕方から朝にかけてとても冷え込みます。園があるポーサット州クラコー郡は山に囲まれた場所で、特に冷えた朝には息が白くなることもあります。Tシャツ1枚では体が冷えてしまうため上着が手放せなくなってきましたが、子どもたちは変わらず元気に生活しています。

今回のDream通信では、新学期に入ってからの子どもの勉強の様子、そして子どもたちの日々のグループ農作業の様子についてお伝えしたいと思います。

勉強

昨年11月1日、子どもたちが通う学校では始業式が行われました。今年は、前年度の高校卒業試験の遅れがあり、例年より遅いスタートの新学期となりましたが、乾季の晴れ渡った青空の下には、子どもたちの緊張し引き締まった表情が並んでいました。

子どもたちはそれぞれ新しい学年に上がり、園でも予習復習、宿題と勉強に忙しい毎日が始まりました。学校では毎月テストが行われ、成績表をもらって帰ってきては、再び気を引き締め勉強に取り組んでいます。

小学校は半日授業のため、午前か午後のどちらかは園での補習授業で予習、復習を行なっています。また、園では子どもたちが学校の授業ノートをとっているか、宿題をしているかを確認しています。出来ていなかった場合はその場でさせることで、その日のことはその日のうちに行うこと、わからないことをそのままにしないことを習慣づけます。

中学生になると補習授業の他に、学年ごとでの自習時間を設けています。自習時間には何を勉強するかを自分たちで考え、分からないところは教え合います。

高校生は、園での補習授業は行なっていません。週に一度学年全員で話し合いを行い、誰がどの教科を理解出来ていないの



わからないところを職員と復習します



友だちと相談し合い、問題を解きます



農園の野菜は元気に育っています！



念入りの土作りも大切



遮光ネットで日照りから守る



役割分担をし、協力して働きます

かを、お互いに把握し教え合うように指導しています。

勉強においては、職員や友達が手伝うことはできても、最後
は自分自身がどのように行動するかありません。誰かから
求められるのではなく、自分で求めることが大切です。

新たな学年での1年間、それぞれが自分自身の将来に向かう
強い自覚を持って勉強に取り組み、自立を目指していてもら
いたいと思います。

グループ農作業

子どもたちは毎夕学校から園に帰って来ると、真っ先に農園
へ駆けて行きます。18時には日が沈んでしまう季節ですが、
文字通り暗くなるまで作業をしています。

園では、雨季も乾季も年間を通してグループ農作業を行なっ
ていますが、雨季と乾季とでは作業内容は変わってきます。雨
が全く降らない乾季の農園では水遣りが必須になり、また、苦
労して遣った水が雑草に吸われてしまわないように、こまめに
草刈りを行なうこともとても重要になります。

土表面からの乾燥を防ぐため刈り草を敷いたり、日照り、気
温の上昇に弱い植物であれば、遮光ネットを張ったりして守り、
植物が育つために最適な環境を整える対策をとります。

グループごとの工夫は様々で、あるグループでは少しでもた
くさんの野菜を育てるため、空芯菜の畑を取り囲むようにオク
ラを植え、土の空き地を限りなく利用しています。湿地が必要
な空芯菜は溝を掘って植えると良く育ちます。その堤防部分が、
背丈が高くなるオクラを支える土台として適していると考え、
限られた土地の中で野菜の収穫量を増やすことにも成功しま
した。

農作業では、自分たちで考える力、考えたことを実行する力、
そして日々の小さな努力を積み重ね、真面目にこつこつと働く
力、これらの力が揃っていることが収穫を左右します。各グル
ープ、大きい子、小さい子が協力し合い、お互いの力を出し合
って農作業に取り組んでいます。

多くの野菜は種まきから3か月前後で実をつけます。3カ月
間1日も欠かすことなく自分たちが世話をしてきた野菜は、自
分たちの実力を表してくれます。

見た目は悪くてもおいしい野菜、実は成ったけれど思ったよ
り甘くなかった野菜など、真剣に取り組んだ結果、反省点も生
まれます。このように、野菜は、子どもたちの中にも様々な「実
り」をもたらします。

これから約半年間続く日照りに負けることなく、大きい子も
小さい子もそれぞれが考えたり、教わったりし、こつこつと働
く中で、個々の力を伸ばして欲しい、そしてより「実り」
多い農園になることを期待しています。